

2016年4月号

# J-SHINE 通信

J-SHINE小学校英語上級指導者  
岐阜県大垣市内の小学校で、4年生  
と6年生の英語担当。指導者歴11年。  
今年度から3年生も担当する事になり  
現役バリバリ活躍中。

今回は小学校英語指導者の仕事を天職と思えるほどになり、日々の英語の授業や授業以外でも英語を通しての子どもたちとのやりとりを心から楽しみ、JTEとしてのやりがいを実感されている戸部さんの実践報告です。



戸部弘美さん

## ■ J-SHINE 資格、上級指導者資格取得のきっかけ

小学校に英語指導者として関わるようになったきっかけは、地域の広報誌の募集があり、それに応募したことです。

最初は資格は全くなしからのスタートでした。募集の条件が、「TOEIC550点以上。英語が好きで子どもが好きであれば誰でもよい」、と言う事でしたので、特に資格がなくても始められました。

しかしながら、3年経ちますと周りに同じ仕事に携わる人が増え、資格のある人が優先されるようになると、自分自身やりづらくなってきましたので、自信を持って自分をアピールできるようになるためにもちゃんとした資格を取らなければと自分の背中を押し、TOEICを受け、815点の結果と共に、J-SHINEの「指導者を探そう」のページに自分の紹介ページが載るようJ-SHINEの資格を取得しました。上級指導者資格を取得するには、そこからさらに4年の継続年数が必要でした。4年経ち自分もそれなりに小学校の先生方との信頼関係を築き上げてきて、指導者としての自信もわいてきましたので、今回申請しました。

## ■ 現在の活動状況

私の働いている大垣市内の小学校では、大垣市独自の指導案があります。もちろん担任、ALT、JTEの3Tで教えていく形をとっていますが、ALTは、数多くの小学校を回っているため、隔週での参加になります。ですから、ALTのいない曜日は、JTEの私がALTの代わりとなり、学級担任と2人で児童に教えております。ALT参加の授業は、補助的な役割で、児童とALTの間に入り、通訳などをメインにしています。

常に心がけていることといえば、隔週で入るALTがやりやすいように、教える内容につながりがあるようにALTが来校せず、JTEだけで教える日には、学級担任と学習内容を確認し、児童の理解度を整理することを意識してやっております。

現場での様子はいつも楽しく、「英語って面白いな。自分がいとも使っている言語と違う言葉でコミュニケーション取るって楽しいな。」と児童に思ってもらえるような教え方を心がけています。

JTEとしてやりがいを感じる時は、やはり自分が投げたボールを児童がキャッチして投げ返してくれる時ですね。打ったら響く。これです。「ああ！わかった〜。」とか「おもしろ〜い！」とか「もつとやりた〜い！」と児童が発言したときは、「よし！」と思います。

## ■ 今後の展望、課題、目標

今後の課題は、児童たちが進学する中学との連携です。せっかく子どもたちが小学校で基礎を学習してきても、中学校側が小学校でどんなことを学んできたのか、どんな様子で学習してきたのかを把握されていないと、教育内容に隔たりや違和感が出て、子どもたちはついていけなくなります。中学校の英語教員がもっと小学校の授業風景を見学されたり、小学校指導者が中学校の授業を見学に行く機会を設けてくださる、などが実現できればなと思います。



私は、長年いろいろな仕事をしてきましたが、英語が大好きであるという点から、10年前にこの職に就く機会をいただき、今思えば本当にこれは自分の天職だと思えるほどになっています。児童の笑顔、児童のやる気を奮い立たせることが、本当にやりがいになっています。楽しくてしょうがありません。これからJ-SHINE 指導者資格を目指す方々へのメッセージとしてお伝えしたいことは、J-SHINE 指導者資格を習得したならば、ぜひ上級指導者になるまで続けてください。他では得られない自信と夢と生きがいを感じて下さい。



最後に、子どもたちのやる気、意欲を促す楽しいアイデアとして一つご紹介します。

昨年新しく入ったALTの案ですが、自分の写真が真ん中に入ったドル札を自前で印刷して作り、それを「PRIZE MONEY」として児童に渡しています。それをGETするには、校内にいるALTを見つけ、英語で話しかけること、人としてのマナーを実践していることなど、スタンプカードに30回スタンプを押してもらうのが条件です。児童たちは、そのドル札を集めるために本当に楽しそうに、がんばっています。JETの私にも「先生、〇〇って英語でどう聞くの?」といっぱい質問してきます。授業の中だけでなく学校生活そのものが英語であふれてきたな、とワクワクします。

\* J-SHINE 通信 Web ページ

この2016年4月号をはじめ、過去に発行したJ-SHINE 通信はすべてJ-SHINEのWebサイトから配信しています。

こちらからご覧ください。

<http://www.j-shine.org/tsuushin.php>